

平成30年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題1]

問1 起案

- 1 差止請求及び損害賠償請求に関する請求の趣旨の内容
- 2 被告製品の構成の特定
- 3 構成要件充足論（クレーム文言解釈、被告製品との対比）
- 4 間接侵害（特許法第101条第2号）の要件（不可欠性、悪意）と当てはめ
- 5 損害賠償請求に関する請求原因の内容

問2 小問

- (1) ア 違法仮処分に対する民法第709条に基づく損害賠償、不法行為の各要件と当てはめ  
イ 相当因果関係の理解と当てはめ
- (2) ア 特許権の共有者の1人が提起する差止請求訴訟の可否  
イ 特許権の共有者の1人に対する無効審判請求の可否  
ウ 特許権の共有者の1人が提起する無効審決取消訴訟の可否